

鹿苑のあり方等検討ワーキンググループにおける委員について

奈良のシカ保護管理計画検討委員会規則第六条に基づき、委員長指名により、鹿苑のあり方等ワーキンググループの委員として、鳥居春己 元奈良教育大学 教授を加える。

表 1 に検討委員会および各ワーキンググループの委員構成、次ページに奈良のシカ保護管理計画検討委員会規則を示す。

氏名	所属・役職名
鳥居 春己	元奈良教育大学 教授

表 1 奈良のシカ保護管理計画検討委員会および各ワーキンググループの委員構成

氏 名	所 属 ・ 役 職 名	検討 委員 会	全体 構想 WG	保護 計画 WG	管理 計画 WG	鹿苑 検討 部会	鹿苑 検討 WG
朝廣 佳子	鹿サポーターズクラブ 会長	○		○		○	
高柳 敦	京都大学 准教授	○	○	○	◎	○	○
立澤 史郎	北海道大学大学院 助教	○	○	○	○	○	○
田中 亜紀	日本獣医生命科学大学 特任教授	○				○	○
鳥居 春己	元奈良教育大学 教授	○	○	○	○	○	○
松井 淳	奈良教育大学 特任教授	○	○	○			
村上 興正	元京都大学理学研究科 講師	◎	◎	◎	○	◎	◎
山崎 伸幸	一般財団法人奈良の鹿愛護会 事務局長	○	○	○			
渡邊 伸一	奈良教育大学 教授	○	○	○		○	○

※ 五十音順、敬称略 ※ ◎：委員長・ワーキンググループ（WG）リーダー、○：委員

※ 検討委員会の構成委員は、構成委員となっているワーキンググループ以外についても、オブザーバーとして参加できるものとする。

※ 検討部会および各ワーキンググループには検討事項に応じて有識者をオブザーバーとして招聘することも可能とする。

○奈良のシカ保護管理計画検討委員会規則

平成二十五年七月十七日

奈良県規則第九号

奈良のシカ保護管理計画検討委員会規則をここに公布する。

奈良のシカ保護管理計画検討委員会規則

(趣旨)

第一条 この規則は、奈良県附属機関に関する条例(昭和二十八年三月奈良県条例第四号)第二条の規定に基づき、奈良のシカ保護管理計画検討委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第二条 委員会は、委員十五人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。

- 一 学識経験を有する者のうちから知事が委嘱するもの
- 二 前号に掲げる者のほか、必要と認めて知事が委嘱するもの

(任期)

第三条 委員の任期は二年とし、再任を妨げない。ただし、当該委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第四条 委員会に委員長を置き、委員のうちから知事が指名する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第五条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開き、議決をすることができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4 前項の場合においては、委員長は、委員として議決に加わる権利を有しない。

(部会)

第六条 委員会は、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、委員のうちから委員長が指名する。

3 委員長は、前項の委員のほか、必要に応じて学識経験を有する者を部会の委員に加えることができる。

4 部会に部会長を置き、委員長が指名する委員をもって充てる。

5 部会長は、部会の事務を掌理し、部会の審議の経過及び結果を委員会に報告する。

6 前条の規定は、部会の会議について準用する。

(平二六規則八〇・追加)

(委員以外の者の出席)

第七条 委員長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(平二六規則八〇・旧第六条繰下)

(庶務)

第八条 委員会の庶務は、県土マネジメント部地域デザイン推進局公園緑地課奈良公園室において処理する。

(平二六規則八〇・旧第七条繰下、令二規則四〇・一部改正)

(その他)

第九条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

(平二六規則八〇・旧第八条繰下)

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成二六年規則第八〇号)

この規則は、平成二十六年四月一日から施行する。

附 則(令和二年規則第四〇号)抄

(施行期日)

1 この規則は、令和二年四月一日から施行する。